

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年4月13日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年4月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【計器用電源装置の誤操作に伴う使用済燃料共用プール1次系冷却ポンプ(A)の自動停止について】 当社当直員が、使用済燃料共用プール2次系冷却系(A)の温度指示調節計の指示が固着していたため、温度指示調整計の電源を「切/入」操作しようとしたところ、誤って、上流側の計器用電源装置を「切」操作してしまい、使用済燃料共用プール1次系冷却ポンプ(A)が自動停止した。 冷却ポンプ(C)は運転を継続しており、冷却は維持されている。 その後、冷却ポンプ(A)を起動し、運転状態に問題がないことを確認。 温度指示調節計と計装用電源装置の系統機器番号が一緒だったため、操作をした当直員が操作箇所を勘違いしてしまったことが原因。 今後、詳細原因調査・対策を実施予定。</p>	G II	4月12日